

聖霊降臨後第6主日特祷（特定11）

すべて寄り頼む者の守り主である神よ、あなたに寄らなければ強くまた清い者はありません。どうか御恵みを増し加え、私たちを治め導かれる主とともにあって、過ぎ去るものに心を奪われず、常に永遠の賜物を失うことがないようにしてください。父と聖霊とともに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられる私たちの主、イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

旧約聖書 創世記18章1－10節a

18:1 主はマムレの櫨の木そばでアブラハムに現れた。昼の暑い頃のこと、彼は天幕の入り口に座っていた。2 ふと目を上げると、三人の人が近くに立っていた。それを見ると、アブラハムは彼らを迎えようと天幕の入り口から走り出て、地にひれ伏して、3 言った。「ご主人様、もしよろしければ、どうか僕のところを通り過ぎて行かないでください。4 水を少しばかり持って来させますから、足を洗って、木陰でお休みください。5 またパンを幾らか持って来ますので、元気をつけ、それからまたお出かけください。せっかく僕の近くを通られたのですから。」すると彼らは、「分かりました。それではあなたの言うとおりにしてください」と答えた。6 アブラハムは天幕のサラのところに急いで戻り、「急いで、上質の小麦粉を三セアこねて、パン菓子を作りなさい」と言った。7 またアブラハムは牛の群れのところへ走って行き、柔らかくておいしそうな子牛を選んで僕に渡した。僕は手早くそれを調理した。8 アブラハムは凝乳と乳、そして調理された子牛を運んで来て、彼らの前に出した。木陰で彼らが食事をしている間、彼はそばで給仕をした。9 彼らはアブラハムに「あなたの妻のサラはどこですか」と尋ねた。アブラハムが「その天幕の中にいます」と答えると、10 彼らの一人が言った。「私は必ず来年の今頃、あなたのところに戻って来ます。その時、あなたの妻のサラには男の子が生まれているでしょう。」

詩 編 第15編

- 1 主よ、誰があなたの幕屋にとどまり || 聖なる山に宿ることができるのでしょうか
- 2 それは、全き道を歩み、義を行い || 心の中で真実を語る者
- 3 舌で人を傷つけず、友に災いをもたさず || 隣人をそしることもない
- 4 彼は主の目に蔑まれる者を退け、主を畏れる者を尊ぶ || 不利益な誓いでも翻しはしない
- 5 利息を取って金を貸さず、賄賂を取って罪なき人を苦しめない || これを行う人はとこしえに揺らぐことがない

使徒書 コロサイの信徒への手紙 1章 15—28節

1:15 御子は、見えない神のかたちであり、すべてのものが造られる前に、最初に生まれた方です。16 天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、王座も主権も、支配も権威も、万物は御子において造られたからです。万物は御子によって、御子のために造られたのです。17 御子は万物よりも先におられ、万物は御子にあつて成り立っています。18 また、御子はその体である教会の頭です。御子は初めの者、死者の中から最初に生まれた方です。それは、ご自身がすべてにおいて、第一の者となるためです。19 神は、御心のままに、満ち溢れるものを、余すところなく御子の内に宿らせ、20 その十字架の血によって平和を造り、地にあるものも、天にあるものも、万物を御子によって、ご自分と和解させてくださったのです。21 あなたがたも、かつては神から離れ、悪い行いによって心の中で神に敵対していました。22 しかし今や、神は御子の肉の体において、その死を通してあなたがたをご自分と和解させ、聖なる、傷のない、とがめるところのない者として御前に立たせてくださいました。23 ですから、あなたがたは揺るぐことなく、しっかりと信仰に踏みとどまり、あなたがたが聞いた福音の希望から離れてはなりません。この福音は、天の下のすべての造られたものに宣べ伝えられており、私パウロはそれに仕える者となったのです。

24 今私は、あなたがたのために喜んで苦しみを受けており、キリストの体である教会のために、キリストの苦難の欠けたところを、身をもって満たしています。25 私は、自分に与えられた神の計画に従って、教会に仕える者となりました。あなたがたに神の言葉を余すところなく伝えるためです。26 永遠の昔から幾世代にもわたって隠されてきた秘義が、今や、神の聖なる者たちに明らかにされたのです。27 神は彼らに、この秘義が異邦人の間でどれほど栄光に満ちたものであるかを知らせようとされました。この秘義とは、あなたがたの内におられるキリスト、すなわち栄光の希望です。28 このキリストを、私たちは宣べ伝え、知恵を尽くしてすべての人を諭し、教えています。それは、すべての人を、キリストにある完全な者として立たせるためです。

福音書 ルカによる福音書 10章 38—42節

10:38 さて、一行が旅を続けているうちに、イエスはある村に入られた。すると、マルタと言う女が、イエスを家に迎え入れた。39 彼女にはマリアと言う姉妹がいた。マリアは主の足元に座って、その話を聞いていた。40 マルタは、いろいろとめてなしのために忙しくしていたが、そばに立って言った。「主よ、姉妹は私だけにおもてなしをさせていますが、何ともお思ひになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。」41 主は答えになった。「マルタ、マルタ、あなたはいろいろなことに気を遣い、思い煩っている。

42 しかし、必要なことは一つだけである。マリアは良いほうを選んだ。それを取り上げてはならない。」